

体育科学学位プログラム 体育スポーツ文化社会学コース（博士後期課程）												
養成する人材像	体育スポーツに関する幅広い学識と高度な専門的知識を有し、自立した教育者・研究者として高度の学術研究により国際社会に貢献できる人材を養成する。特に、スポーツ文化社会学領域において独創的研究を自立的に遂行できる研究者を養成する。											
教育研究の特徴	<p>博士後期課程は、スポーツ文化社会学領域における高度な専門的知識および独創的研究能力を有する研究者の養成を目的とする。本課程においては、スポーツをめぐる歴史的・思想的・社会的・文化的諸課題を理論的枠組みに基づいて精緻に分析し、新たな学術的知見を創出する能力の涵養を図る。あわせて、国際的学術水準に適合した研究成果を発信し得る能力を育成する。</p> <p>本課程では、以下の能力を備えた自立した研究者および高度専門職業人を養成する。</p> <p>独創的研究課題を設定し、学術的意義を明確化できる能力 高度な理論的分析および実証的研究手法を統合し、体系的な研究を遂行できる能力 国内外の学術交流において研究成果を発信し、当該分野の発展に寄与できる能力 大学等において教育研究を担うことのできる指導的能力</p> <p>本課程では、以下の研究領域を中心に教育研究を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 時間軸に基づく歴史的研究（スポーツ史） 2. 民族的・地域的視座に立つ人類学的研究（スポーツ人類学） 3. 思想・哲学的基盤を探究する研究（スポーツ哲学） 4. 体育・スポーツの社会的機能および制度的課題を分析する研究（スポーツ社会学） <p>本課程の教育研究を通して創出される成果は、国際的学術発展に資するとともに、我が国の体育・スポーツ政策および実践の高度化に寄与することが期待される。</p>											
修了後の進路	大学教員／国内外の研究機関における研究員／中学校・高等学校教諭（保健体育）／中央競技団体・国際競技団体における政策企画職／国・自治体における高度専門職／スポーツ競技団体職員／スポーツ関連機関職員／スポーツ関係企業人／											
科目区分	1年次		2年次				3年次					
	前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期	
大学院共通科目	身体総合学術特論	2										
研究群共通科目	研究報告演習 英語論文ライティング	2 (通年)	英語論文ライティング	2								
専修科目	体育スポーツ文化社会学特論演習	2										
研究指導科目	体育科学研究Ⅰ	(通年)	体育科学研究Ⅰ	2	体育科学研究Ⅱ	(通年)	体育科学研究Ⅱ	2	体育科学研究Ⅲ	(通年)	体育科学研究Ⅲ	2
履修方法	<p>次の履修方法により、12単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 大学院共通科目: 2単位 (2) 共通科目: 2単位 ※「研究報告演習」は必修 (3) 専修科目: コーチング科学学位プログラムの科目から2単位 (4) 研究指導科目: コーチング科学研究Ⅰ～Ⅲの6単位 ※研究指導教員が担当する科目を選択する。</p>											
修了要件	3年以上在学し、各学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。											
その他の学修・研究	学会発表	論文投稿 学会発表	論文投稿 学会発表	論文投稿 学会発表	論文投稿 中間発表会 学会発表	学会発表	学会発表	博士論文作成 博士論文審査 最終試験 最終発表会				